

丸亀市地域公共交通活性化協議会

地域内フィーダー系統
事業評価(令和7年度)

丸亀市基礎データ

合併状況:平成17年3月に1市2町が合併

人口:110,617人(令和7年10月現在)

面積:11,183平方キロメートル

【本島町】

人口:305人(令和7年10月現在)

面積:6.75平方キロメートル

丸亀市における主な公共交通概要

○鉄道・軌道 JR四国(予讃線)、高松琴平電気鉄道(琴平線)

○バス

(幹線)

- 丸亀コミュニティバス(丸亀垂水線、丸亀西線、レオマ宇多津線)
丸亀駅を起点とし、飯山町と綾歌町の主要施設を經由し3路線で市内を運行するコミュニティバス
- 島田・岡田線
NEWレオマワールド、琴電岡田駅、島田で丸亀コミュニティバスとつながり、富熊西沖で坂出綾川線と接続する。飯山町、綾歌町から坂出駅まで主に国道438号を走る民間事業路線

(フィーダー)

- 丸亀コミュニティバス(綾歌宇多津線、丸亀東線)
丸亀駅を起点とし、2路線で市内を運行するコミュニティバス
- 本島コミュニティバス
離島地域である本島地区を走行する自家用有償旅客運送
- 広島コミュニティバス
離島地域である広島地区を走行する自家用有償旅客運送
- 琴平線
琴平町と善通寺市、丸亀市を走る民間事業路線

○航路

- 本島汽船 : 丸亀～牛島～本島
- 備讃フェリー : 丸亀～広島～小手島～手島
- 六口丸海運 : 本島～児島

○タクシー

市内5事業者

地域の交通の目指す姿(事業実施の目的・必要性)

別添1-2参照

丸亀市の公共交通ネットワーク図



協議会の構成員

学識経験者 琴参バス(株) 本島汽船(株) 備讃フェリー(株)
四国旅客鉄道(株) 高松琴平電気鉄道(株) 丸亀タクシー組合
NPO法人石の里広島 丸亀市コミュニティ協議会連合会
丸亀市老人クラブ連合会 丸亀市身体障害者福祉連合協会
丸亀市民生委員児童委員協議会 丸亀市観光協会
丸亀商工会議所 丸亀市PTA連絡協議会 公募委員
四国地方整備局 四国運輸局 丸亀警察署 香川県 丸亀市

前年度の事業評価における課題

(本島コミュニティバス)
利用ニーズに合わせた運行・取組を実施する。
(綾歌宇多津線・丸亀東線)
利用者のニーズの集約と乗降センサーを活用した利用状況により、効率的かつ利便性の向上に向けた運行を検討する。

定量的な目標・効果

(本島コミュニティバス)

目標

利用者数を5,620人以上とする。

効果

陸地部への公共交通ネットワークと連携することで、島民の通院、買い物などの交通手段となり、高齢者などの外出機会の確保・創出につながる。

また、交通空白地を少しでも減少でき、外出促進、地域活性化にもつながることが期待できる。

(綾歌宇多津線・丸亀東線)

目標

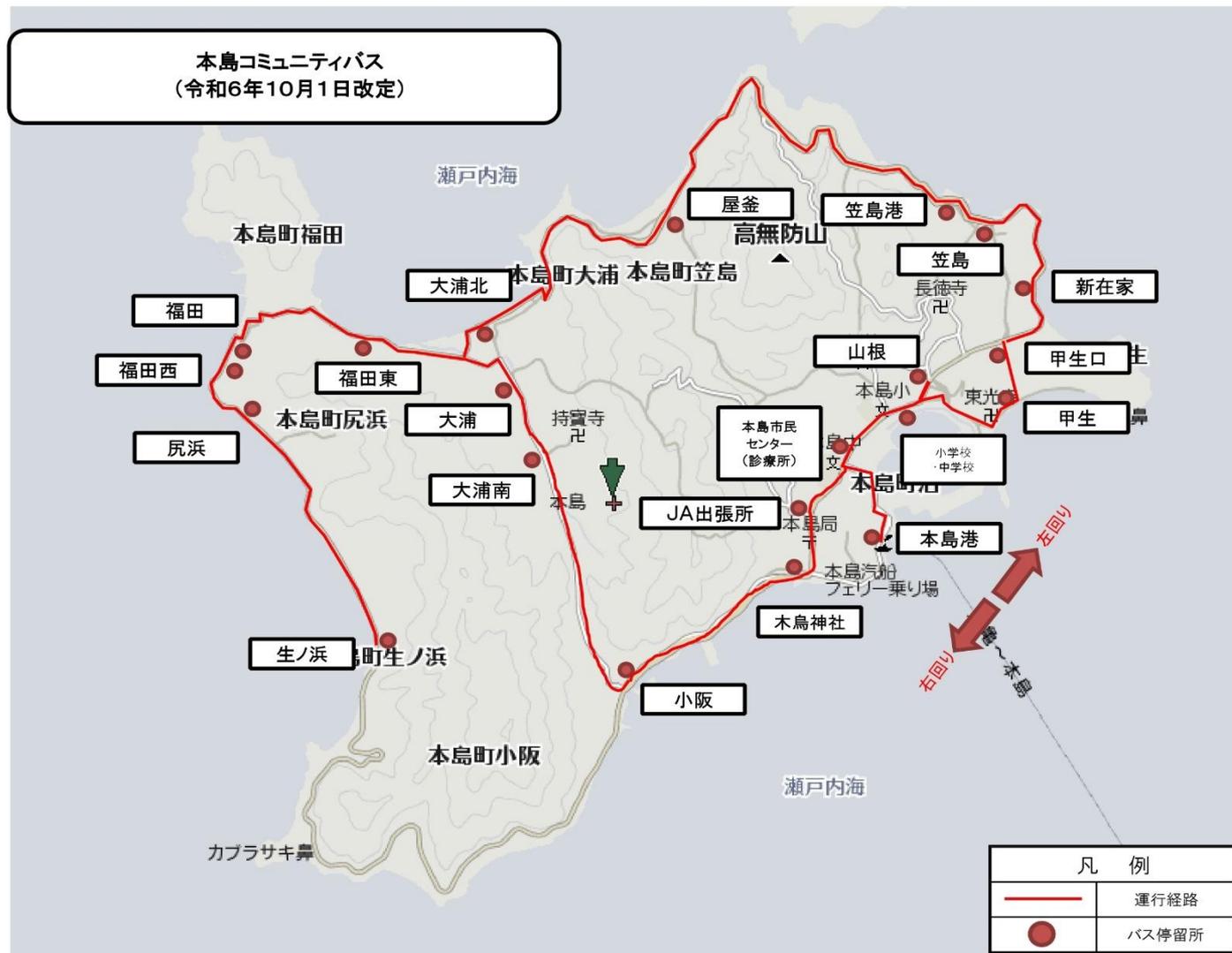
利用者数を綾歌宇多津線は33,290人以上、丸亀東線は32,130人以上とする。

効果

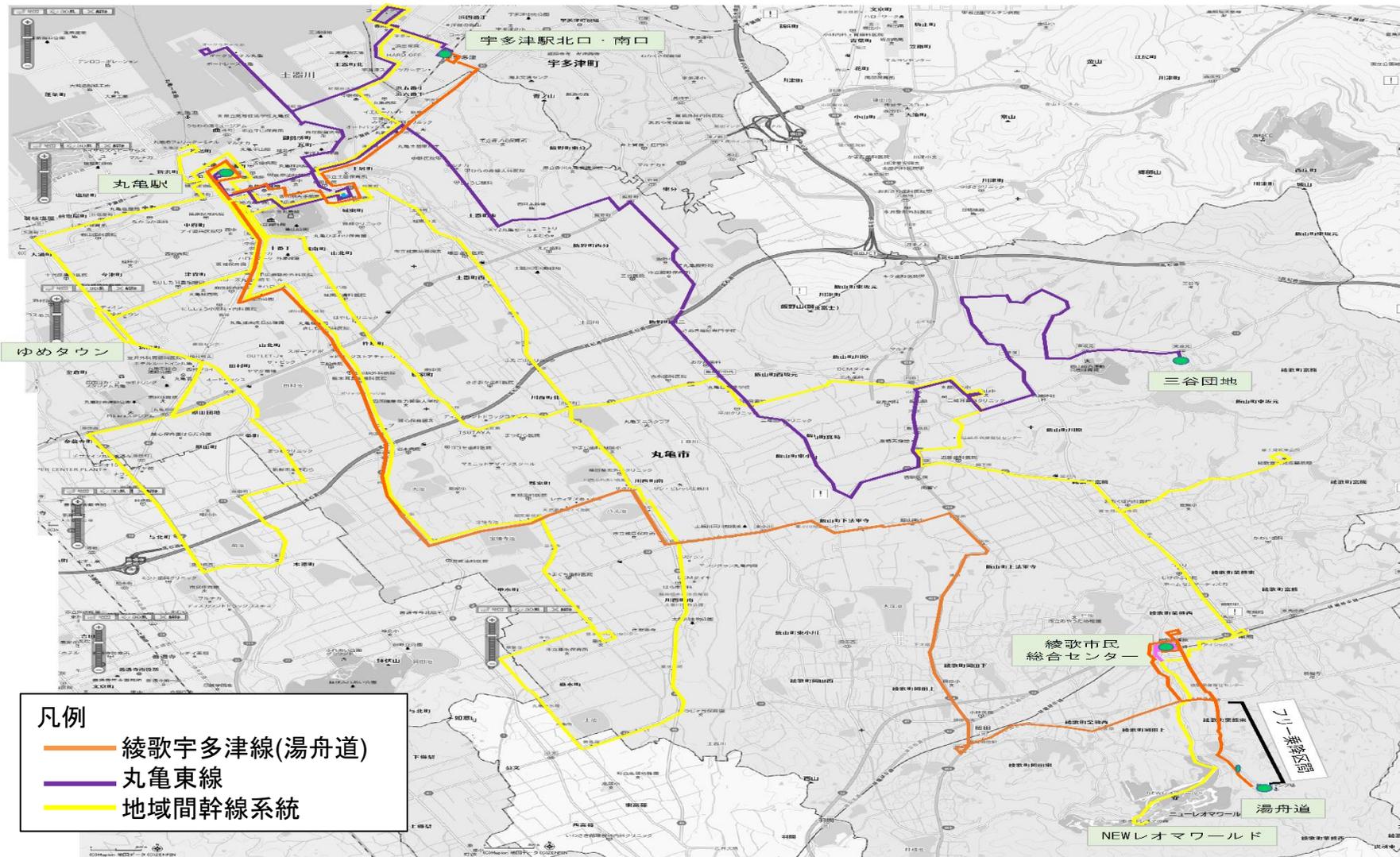
綾歌宇多津線、丸亀東線を維持することにより、学生や車を持たない高齢者の移動手段が確保される。また、幹線、支線のネットワークが連携することで、効率的に運行体系が確保される。

また、交通空白地を少しでも減少でき、外出促進、地域活性化にもつながることが期待できる。

フィーダー系統図 (本島コミュニティバス)



フィーダー系統図 (綾歌宇多津線・丸亀東線)



「定量的な目標・効果」達成のための具体的な取組

(本島コミュニティバス)

- ・島民との意見交換を行い、バス停の新設、運行ルートの変更を行った。
- ・航路との接続以外にも島内での移動に配慮したダイヤ設定を行った。(1日5便から6便に増便)
- ・Google Mapでの路線検索で英語標記を追加し、来訪者の利便性向上を図った。

(綾歌宇多津線、丸亀東線)

- ・利用状況により経路の見直しを行った。
- ・デジタル乗車券やサイクル&バスライドの導入など利用促進事業に取り組んだ。
- ・市内の小学校においてモビリティマネジメント教育を実施し、新規利用者の掘り起こしや啓発活動を行った。

(共通)

- ・75歳以上の高齢者、毎月20日、市キッズウィークや選挙期間中、お城祭り開催時の運賃無料キャンペーンを実施した。
- ・地域間交通ネットワークとの接続に配慮したダイヤ設定をしている。

自己評価

事業実施の適切性

(本島コミュニティバス):A

- ・計画通り事業は適切に実施された。

(綾歌宇多津線・丸亀東線):A

- ・計画通り事業は適切に実施された。

「定量的な目標・効果」の達成状況

(本島コミュニティバス):B

- ・利用者数は目標の5,620人に対し、4,193人であり、目標達成率74.6%であった。

(綾歌宇多津線):A

- ・利用者数は目標の33,290人に対し、37,561人であり、目標達成率112.8%であった。

(丸亀東線):A

- ・利用者数は目標の32,130人に対し、37,162人であり、目標達成率115.6%であった。

今後の事業に向けた改善点

(本島コミュニティバス)

- ・乗降調査など利用状況の把握に努める。
- ・ホームページやGTFSデータを活用した情報発信を行い来訪者の利用促進を図る。

(綾歌宇多津線・丸亀東線)

- ・クーポン付き乗車券の発行や丸亀市と連携したサイクル&バスライドなどターゲットを絞った更なる利用促進事業に取り組む。
- ・乗降センサーを活用し路線運行の効率化を検討する。
- ・GTFS-JPにてオープンデータ化に取り組み情報発信に努める。
- ・分かりやすい時刻表やホームページの作成、モビリティマネジメント教育を通して誰もが利用しやすい環境整備に努める。

(共通)

- ・無料キャンペーンを引き続き行い利用者の拡大を図る。
- ・改定予定の地域公共交通計画に基づいて事業を実施する。

その他PRポイント

- ・令和8年3月改定予定の「丸亀市地域公共交通計画」に掲げた各事業について、関係者とともに進捗管理を行いながら取り組む。